

## ◇ 血圧

心臓は、全身に血液を送り出すポンプの役割をしています。この血液を送り出すときに血管の中に加わる圧力を血圧といいます。心臓が収縮して血液を押し出したときを『収縮期血圧（最高血圧）』、心臓が拡張して血液を吸い込んだときを『拡張期血圧（最低血圧）』といいます。

## ◇ 視力

5メートル離れた距離でどれだけ正確に見る力があるかを調べます。裸眼視力または矯正視力(眼鏡やコンタクトレンズを使用した視力)のいずれかを測定します。

## ◇ 眼圧

眼球の内部は液体（房水）により圧力が保たれています。空気を眼球に吹きつけることで、その反射から眼圧を測定することができます。緑内障では眼圧が高くなり、視神経が障害されやすくなります。また眼圧が低い場合は網膜はく離や、外傷があることが疑われます。

## ◇ 眼底

眼底検査では、黒目の奥の網膜を撮影して、眼底の血管の状態を調べます。眼底は体の中で唯一、肉眼で直接、血管の状態を観察できるところです。眼底検査をすることで、高血圧や動脈硬化の進行度、眼球の病気などを発見する手がかりになります。

### 【判定の見方】

	KW	SH	SS	説明
判定	O	O	O	異常なし
	I	I	I	軽度の変化を認めますが特に問題なし
	II以上	II以上	II以上	眼科受診が必要な場合もあります。 その他の所見と併せた判定になります。

KWはキース・ワグナー分類という高血圧性眼底、高血圧性網膜症を分類したものです。SHとSSはシェイエ分類という高血圧性変化と細動脈硬化性変化を分類したものです。

### 【主な所見】

緑内障	視神経が障害され、徐々に視野が欠けていく疾患です。必ず精密検査をお受けください。
網膜神経線維層欠損	緑内障を疑う所見です。精密検査をお受けください。
視神経乳頭陥凹拡大	これらは緑内障性の変化の可能性があるので、精密検査となることがあります。
糖尿病性網膜症	糖尿病で高血糖の状態が長く続くと網膜の細い血管が傷むことで現れる毛細血管瘤、出血、白斑等の変化のことをいいます。
黄斑変性	黄斑部と呼ばれる部分が障害される疾患です。視力低下、物が歪んで見える、視野の中央が暗く見えるなどの症状が現れます。
黄斑上膜	眼の中の硝子体と呼ばれる部分が変性し網膜から剥がれた為、網膜に残った硝子体の一部が膜を形成している状態です。物がゆがんで見えたり、視力が低下したりします。加齢により生じる変化です。
網膜静脈閉塞症	網膜や視神経の静脈内に血栓が生じて静脈がつまり、網膜に閉塞を起こしたものをいいます。閉塞した部位に一致した視野欠損や視力低下が起こります。

### ◇ 聴力

日常会話の音域（1000Hz）と高音域（4000Hz）で検査を行います。日常会話の音域で30dB、高音域で30dBを聞き取れない場合は難聴や中耳炎が疑われます。騒音性難聴や高齢者では4000Hzの高音が聞こえにくくなります。